



市の将来像「みどり ときめき たしかな未来 菊川市」実現に向けた 令和3年度予算

◎ 令和3年度一般会計予算は、**新市誕生以来築き上げられた市政運営の方向性を踏襲するとともに、コロナ禍以降の「ポストコロナ」を意識しつつ、「新型コロナ対策」「魅力の発信と移住定住の推進」を特に意識して編成。**市税収入減などのきびしい財政状況を踏まえ、事業の延伸等により歳出の抑制を図り、**対前年度比 ▲6億8,100万円 (▲3.4%) となる 191億500万円の堅実型予算とした。**

補正予算との一体的な編成・執行

○ 国、県からの財源を有効に活用しつつ、新型コロナウイルス感染症への対応を機動的に実施していくため、**令和2年度第10号補正から令和3年度当初、第1号補正までの予算を一体的に編成。**
(下記イメージ図参照)

令和3年度予算の編成・執行イメージ図

令和3年度予算 (R2. 10号補正と合わせ、切れ目のないコロナ対策)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
		R2. 10号補正 ○コロナ対策中心				
令和2年度補正予算(1~9号) ○通常補正、コロナ対策他			R3. 1号補正 ○コロナ対策中心		R3 追加補正(検討) ○状況に応じ追加対策	
令和2年度当初予算 ○総合計画の推進			令和3年度当初予算 ○総合計画の推進 ○コロナ対策(ワクチン接種他)			

「さらに前へ!」進むための展開

○ 「市民の命と暮らしを守る」視点で、**新型コロナウイルス感染症対策を最優先で実施。**
○ **市総合計画に掲げる将来像の実現に向け、魅力の発信、移住定住の推進、子育て支援、企業誘致などの取り組みを推進するとともに、国土強靱化、病院経営の安定化等にも引き続き注力。**

財政の健全性確保に配慮した堅実型予算

○ **財政運営の健全性を確保するため、事業の延伸や経常的経費の圧縮、市債借入額の抑制を図り、堅実型予算として編成。**
○ **基金取崩額の抑制**を図り、新型コロナウイルス感染症の追加対策や災害時の対応に必要な財源を確保。

0円予算による「笑顔」と「発信」

○ 市政運営はきびしい状況が続くこの時期にこそ、**職員一人ひとりが持つ力を発揮し、一丸となって取り組んでいくことが大切。笑顔での挨拶や接遇の向上、効果的な情報発信など、予算をかけなくてもすぐに取り組めることは積極的に推進していく。**